

## 戦略2 幸せに歳を重ねられる暮らしをとどける

計画期間 令和6年度～令和10年度

主管部局 健康福祉部 関係部局 企画政策部

### 【戦略実現に向けた施策の方向性】

- 市民一人ひとりの健康意識を高め、健康診査・がん検診等の受診率の向上や、食生活・運動習慣の改善などを通じて、健康寿命の延伸に取り組みます。
- 一人ひとりの生涯やライフステージに応じた健康づくりを推進します。
- 江別版「生涯活躍のまち構想」に基づき、多様な主体が生涯にわたって安心して生活できる共生のまちづくりをより一層推進します。

### 【戦略を構成する具体的施策の事業費推移】

名 称	実績		予算額		
	—	—	令和6年度	令和7年度	令和8年度
(1) 健康増進活動の推進	千円	千円	10,379	千円	千円
(2) 疾病予防・重症化予防の促進	千円	千円	176,876	千円	千円
(3) 多様性を認め合う社会意識の醸成	千円	千円	7,285	千円	千円
計	千円	千円	194,540	千円	千円

### 戦略実現に向けての数値目標

#### ◆数値目標（1） 健康だと思う市民割合（単位：％）

現状値	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	目 標
78.4						85.0

#### ◆数値目標（2） 健康を維持するために心掛けていることがある市民割合（単位：％）

現状値	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	目 標
89.2						92.0

#### ◆数値目標（3） 日頃の生活の中で地域の人との交流がある市民割合（単位：％）

現状値	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	目 標
20.9						40.0

**具体的施策 (1) 健康増進活動の推進**

健康寿命を延ばし、いつまでも健康で元気なまちを目指して、全ての人々が健康的な生活を送ることができるよう、個人のみならず、地域や職域などと連携し、「こころ」と「からだ」の健康づくりを行うための普及活動や環境づくりを推進します。

◆重要業績評価指標 (KPI) 健康づくり事業への参加者数 (単位: 人)

現状値	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	目標
4,182						10,000

<令和6年度の方針>

健康増進活動の推進に当たっては、市民一人ひとりが生涯を通じて学び、こころと体の健康に関心を持ち続けるとともに、地域とのつながりを大切に、健康づくりの輪を広げていくことが重要です。  
 令和6年度は「えべつ市民健康づくりプラン21(第3次)」「第2次江別市自殺対策計画」が計画期間の初年度となることから、各計画に基づき各種取組を推進します。  
 健康づくりのきっかけとなるような啓発イベントを開催するとともに、野菜摂取をはじめとした、食からの健康づくりを推進し市民意識の向上を図ります。  
 子どもの頃からの望ましい生活習慣の確立に向け、小中学校における喫煙予防や生活習慣病予防教室の開催を継続します。また、健康づくり推進員等による地域に根差した健康づくり活動を推進するほか、ゲートキーパー養成講座を開催するなど、こころと体の健康づくり活動を推進します。

<課題>

- 子どもの頃から正しい生活習慣を身に付ける
- 自らの健康について関心を持つ市民の増加
- 運動などの健康づくりに取り組む市民の増加
- 食生活の改善に取り組む市民の増加
- 市民に不足している野菜摂取量の増加

<取組の概要>

- ・小学校での「喫煙予防教室」や、中学校での「生活習慣病予防教室」を開催
- ・E-リズムの普及啓発と市民への定着化を図る
- ・地域健康づくり推進員や食生活改善推進員等と連携協力し、地域の健康づくり活動を推進
- ・ゲートキーパー養成講座を開催するなど、心の健康づくりを推進
- ・野菜摂取をはじめとした、食からの健康づくりを推進
- ・健康づくりに関する啓発イベントの開催

事務事業	成果指標	令和6年度(予算)			備考
健康づくり推進事業	こころや体の健康づくりに関する講座、教育、相談の参加人数	8,800 人			
	地域健康づくり推進員事業参加人数	998 人			
	事業費	9,170 千円	千円	千円	
健康都市推進事業	健康を維持するために心掛けていることがある市民割合	90.0 %			
	事業費	1,209 千円	千円	千円	

**具体的施策 (2) 疾病予防・重症化予防の促進**

食生活の改善や運動習慣の定着などにより、生活習慣病を予防するとともに、健康診査やがん検診等の推進により、疾病の早期発見や早期治療に結び付け、合併症や重症化の予防に努めます。また、先進的な予防医療の視点から健康増進の可能性を探ります。

**◆重要業績評価指標 (KPI) 過去1年間にがん検診を受けた市民割合 (単位: %)**

現状値	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	目標
36.9						45.0

**<令和6年度の方針>**

みずからの健康を守るため、進んで自分の健康状態を確かめるとともに、バランスのよい食事や適度な運動により、正しい生活習慣を守ることが必要です。  
 各種健(検)診では、健(検)診機会の確保に努め、健(検)診の必要性や受診方法等の周知を工夫し、更なる受診率の向上に努めます。健(検)診受診により、自らの健康状態を把握し、適切な医療と正しい生活習慣の実践に生かすことも重要であることから、特定保健指導等の保健指導の充実に努めます。  
 また、高齢者の医療・介護・保健データを一体的に分析し、個別支援や健康教育を行うことで健康寿命の延伸を図ります。令和6年度は健診未受診等の健康状態不明者の状況把握を通じ、健康課題の把握とフレイル予防に向けた取組を進めます。

**<課題>**

- 特定健診受診率・特定保健指導利用率の向上
- がん検診受診率の向上
- 運動や社会参加による介護予防の推進

**<取組の概要>**

- ・節目年齢受診無料等のインセンティブの提供や、電話・訪問等による受診勧奨を実施
- ・健(検)診申込窓口の一元化、WEB予約の導入による受診しやすい環境の整備
- ・住民が主体的に集まる通いの場を活用した介護予防・疾病予防講話の実施
- ・高齢者の保健と介護予防を一体的に実施

事務事業	成果指標	令和6年度(予算)			備考
成人検診推進事業	がん検診平均受診率	14.3 %			
	事業費	88,315 千円	千円	千円	
特定健康診査等事業	特定健診受診率	28.7 %			
	特定保健指導利用率	44.2 %			
	事業費	72,350 千円	千円	千円	
一般介護予防事業	介護予防出前講話の受講人数	1,200 人			
	通いの場等での専門職講話の受講人数	320 人			
	事業費	7,538 千円	千円	千円	
高齢者保健・介護予防一体的実施事業	専門職派遣による健康教育・相談延べ人数	739 人			
	重症化予防等の個別支援実施人数	425 人			
	事業費	8,673 千円	千円	千円	

**具体的施策 (3) 多様性を認め合う社会意識の醸成**

性別、年齢、国籍、文化の違い、障がいの有無などに関わらず、多様な主体が交流し、誰もが自分らしく、いきいきと暮らすことができる、共生のまちづくりを進めます。

◆重要業績評価指標 (KPI) 性別や年齢、国籍などが異なる人への「壁」をなくすべきだと思う市民割合 (単位: %)

現状値	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	目標
79.7						85.0

<令和6年度の方針>

- ・性別、年齢、国籍、文化の違い、障がいの有無などに関わらず、市民がひとしく行政サービスを受けることができ、安心して暮らせるように、全庁的な対応を行います。
- ・江別版「生涯活躍のまち」構想に基づき、年齢や障がいの有無に関わらず、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる「共生のまち」を目指し、地域や大学等と連携した取組を進めていきます。

<課題>

- 性別や年齢、国籍、文化の違い、障がいの有無などの多様性を認め合う社会意識の醸成
- 生涯活躍のまちの認知度向上と拠点地域内外の多世代や障がい者など多様な主体による交流の創出

<取組の概要>

- ・共生のまちづくりに関連する部署の連携による意識啓発
- ・地域住民の国際理解や在住外国人にとって住みやすいまちづくりの推進
- ・生涯活躍のまち拠点地域の市民周知と来訪者増に向けた交流事業等の推進

事務事業	成果指標	令和6年度(予算)			備考
生涯活躍のまち推進事業	「生涯活躍のまち推進事業」拠点地域を訪れた人数	100,000 人			
	事業費	7,285 千円	千円	千円	